

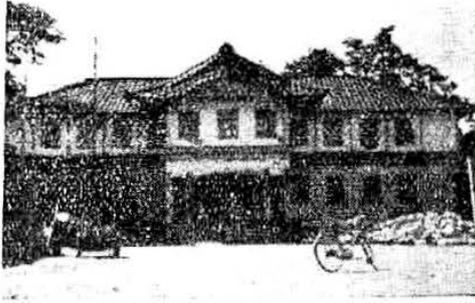


第 1 3 号  
 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼  
 編 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼  
 朝 日 町 役 場 内  
 九 里 道 守  
 印刷所 河 越 印 刷

過去の史蹟を語りついで

# 旧泊育英小学校々舎

今日、朝日町立図書館と朝日町議会及朝日町教育委員会が使用している古風な建築物は、知る人は昔なつかしい思い出のものであり、見る人をして奇異の眼を見張らせる。



此の建築物は、工費五千参百四十円で明治二十年十二月の建築になるもので、昭和三年現在の鉄筋コンクリート三階建の現県立泊高校の校舎



が新築されるまで、泊小学校々舎として数多くの泊町及近所の(高等科)児童生徒を送り迎え幾多の逸材を生んだところである。



もと／＼泊小学校は創立当時は広明小学校と称していたが、明治十五年正月に育英小学校と改称している写真版の育英小学校の扁額は、三条実美卿の揮毫になるもので、その当時のことが偲ばれ今日も此の扁額は重要な史料として保存せられてい

さて、明治二十年代は、明治十五年前後の所謂鹿鳴館時代の思潮の流れをくむ頃で、建築の上にも相当のはなやかさが伺われる。和風建築に洋風を取り入れてある当時とすれば誠に豪壮明快な建築物であつたことであろう。正面玄関には室町時代に最も発達した唐破風を取りつけ、洋風の直線形式の建築様式に唐破風の曲線形式を取り入れているところに建築美の妙があるように思う。

明るい県政 正しい一票

## 県知事選挙

たのまれた一票暗い県政

投票日  
 9月25日

こうした古い建築物が、心なくも次第に焼失或は取りこわされて行くことは誠に遺憾である。朝日町が持つ明治時代の代表的公共建築物は将来の計画もあろうが何等かの方法で保護存置を構すべきである。

## 勤皇志士加藤謙二郎先生の書簡披露追悼会

朝日町泊出身勤皇志士加藤謙二郎先生の行績については町民の夙に知る処であるが、先生が当時危険思想保持者として幕府から査察をうけついにちつ居を命ぜられる身となつたが当時の監視人、肝入りであつた金森尊氏の計らいにより暗夜ひそかに脱出し京都、十津川に向つたが氏がその際当時の親友たる金森尊氏及び小沢寛氏宛に今後の自己の進むべき道や心懐について述べた書簡を寄せたがこの書簡は小沢寛氏の子息たる小沢助左エ門が家宝として保存中であつたが小沢氏は既に米寿を起した老齢にして寄る辺なく本町出身の細川嘉六氏及び同吉本嘉六氏の世話にて目下東京の養老院にて静かな余生を送つておられるが氏がこの貴重な史料を保存しおられることを知つた吉本嘉六氏(本町三浦町出身目下東京に於て綿工場経営)がこれを見聞し泊町に寄進するよう勧めたるところ小沢氏はこれを快諾しその処置を吉本氏に一任されたが当時(昭和十九年)戦争も漸く末期の惨状を呈しその史料が長野県の山村に疎開しあり種々の困難を排除し漸く入手し泊町に寄進したが、再び諸種の事情で行方不明となり本年五月十数年ぶりで漸くその史料が吉本氏の許に還つたが、吉本氏は三浦町加藤常次郎氏外同町の有志らと図りこれを先生の菩提寺である松林寺に寄進することになつたが、これを機会に馬りようクラブが中心となつて梓会と協力し近く松林寺に於て加藤謙二郎先生の追悼会を兼ねてこの史料の寄進式典を挙行し併せてこの史料を一般公開に附することに決定した。

## 郷土写真風物詩

は さ

みのる穂は稲重く首をたれる、黄金色に、みのつた稲は、農夫の手によつて次から次へと刈り取られて行く。



田の中に、田のくろくに建てられた「はさ」に稲はかけられて行く。秋たけなわな越路の風物詩だ。

朝日町議会は九月八日午後一時から臨時会を開いて、正、副議長の改選並びに、地方自治法の改正に伴う朝日町議会、委員会条例の一部改正を行い、常任委員会及びその構成を次のように決定した。

### 町議会正、副議長 常任委員等改選

- 議長 清水 伝平(再)
- 副議長 柚木 文次(新)
- 総務委員会
  - 委員長 小坂 満(再)
  - 副委員長 山岡 源嗣(新)
- 委員 石井 撰 中島喜代次
- 松原 茂 高松 林松
- 阿部 順三 水田 留吉
- 小林 邦司 水島 堅治

- 産業委員会
  - 委員長 藤田仁之次郎(新)
  - 副委員長 大村 房次(新)
- 委員 大野 龜吉 弓野幸太郎
- 谷口 栄藏 坂口松次郎
- 狩谷 常作 上島 栄作
- 木村 源策 大橋米太郎
- 扇谷九左エ門
- 末上作左エ門

- 文厚委員会
  - 委員長 名越 茂吉(新)
  - 副委員長 勝田忠雄(新)
- 委員 百石 正一 能沢 健次
- 長津孝次郎 土井宗太郎
- 追分 健作 池田竹次郎
- 柚木 文次 渡辺 秋男

- 経済委員会
    - 委員長 岩谷 健次(新)
    - 副委員長 山本豊太(新)
  - 委員 清水 信茂 清水 伝平
  - 大森 善治 金井 憲治
  - 米田 吉二 村口 清次
- 右により従来、総務、文厚、建設、農林、商工水産の五委員会が、総務産業、文厚、経済の四委員会に縮小された。

## 基本選挙人名簿

### 九月十五日現在で調製

基本選挙人名簿に登録するため、御手許へ選挙資格者申告書用紙を配付してありますが、次に掲げる有資格者は漏れなく記入して「九月二十八日」まで町内会長を通じて委員会へ提出して下さい。

加療中の者の住所は、特別の事情のない限り、その家族の住所をもつて住所を認められる。  
三、基本選挙人名簿に登録されない者

### 町政

- 一、基本選挙人名簿に登録される者(有資格者)
  - ① 日本国民
  - ② 昭和三十一年十二月二十日において年令が満二十才以上の者(昭和十一年十二月二十一日以前に出生した者)

### 九月

- ③ 調製期日(九月十五日)
- ④ 職員研修会(第六日)
- ⑤ 行政区画特別委員会
- ⑥ 町議会全体協議会
- ⑦ 起債関係調査に富山財務部より来場
- ⑧ 臨時町議会
- ⑨ 魚津市大火
- ⑩ 魚津大火義捐金募集打合せ

### 注意

- 住所を有する者
  - 住所は民法第二十一条の規定による生活の本拠をいい、一人一ヶ所に限る。
  - 修学のため、寮、下宿等に居住する学生生徒の住所は、特段の事情のない限り、その寮、下宿等の所在地にあるものと認められる。
  - 病院その他療養施設に入院
- ① 禁治産者
- ② 禁こ以上の刑に処せられ、その執行を終了までの者
- ③ いわゆる選挙犯罪による禁こ以上の刑に処せられその執行を受けることがなくなるまでの者
- ④ 選挙に関する犯罪により選挙権停止中の者
- ⑤ 昭和十一年十二月二十二日以後に生れた者
- ⑥ 九月十五日に朝日町に住所を有しない者
- ⑦ 本年六月十七日以後朝日町に住所を有するに至つた者
- ⑧ 戸籍法の適用を受けない者
- ⑨ 海区漁業調整委員会委員選挙人名簿にも九月十五日現在で調製されまが、この名簿に登録される者は九月十五日現在において朝日町に住所を有し、漁業従事日数が九十日以上を有し、該当者は別配付する用紙で申請して下さい。

### 誌

夏休みも過ぎて真黒に陽焼けした顔をかかやかせて二期を迎えた朝日町の小中学校は、年中行事の一つである運動会の練習にそろそろ本腰を入れはじめ、男子の白パンツ姿と女子のショートパンツ姿が九月中旬

月十八日午前九時より小川中学校に於て開く事になりました。本年の出品は乳牛、和牛、馬、山羊、綿羊、鶏で審査を飼育管理を重点として行われますので家畜飼育農家は多数出品される様共進会事務局で切望して居ります。

### 十月一日より

## 改正教育委員会 法施行

新教育委員会法は六月三十日公布いよ／＼十月一日より施行されることとなつた。その要旨を略記すれば左の通りである。

- (1) 委員の選任方法については、公選制を改め、町長が議会の同意を得て任命することになった。
- (2) 委員長は教育委員会の委員のうちから選挙することになった。
- (3) 教育長は市町村の教育長にあつては都道府県の委員会の承認を得て教育委員会が任命するものであり委員会の委員のうちから任命されることになった。

次に従前教育委員会が担任していた事務で市町村長に移行される事務は(1)教育財産の取得及処分。(2)教育委員会の所掌にかゝる事項に関する契約を締結すること。(3)教育委員会の所掌に係る事項に関する収入及び支出を命ずることとなつて居る。尚朝日町に於ては委員定数を五名と定めた。

### 台風九号に依る

#### 水稲被害

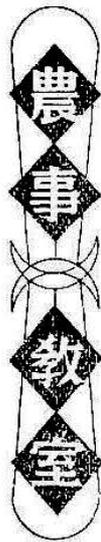
去る八月十七日夜半より翌十八日に亘り当地一帯に襲来した台風九号は管内農作物に甚大なる被害を及ぼしたが朝日町管内でも水稲の出穂開花期に有つた中生種は到る所白穂枯となり、又早生種は殆んどが倒伏するなど其の被害は夥しく、台風前の作況予想に比較し約九、七〇〇石(金額見積り九、七〇〇万円)の減収被害と推定される。尚地域的には泊、境方面が特に被害甚大であつた。

### 家畜共進会の開催

畜産振興の一環として例年開催の朝日地区家畜共進会は本年も来る十

台風九号の水稲被害回顧

今年も昨年に引続いて豊作であると思はれたのに去る八月十七日夜半から十八日にかけて台風九号が今年の稲作をして豊年から凶作へと吹き飛ばしてしまつた。其の原因について二、三考えさせられたので皆様と共に反省して見たい。被害は白穂と倒伏の二大別出来る。白穂については後日記述するとして倒伏については特別考えて見たい。倒伏の原因は直接には勿論台風であるが、台風の被害にも程度が異なる。軽微な被害の田については論外であるが被害の大きな田は昔から云ふ青田八石、米一石作ではなかつたのである。特に反省して見たいものである。なぜ青田八石米一石作りをやるのか、富山県民性か、倒れないと米が多収にならないと云うデマに迷はされたのか、否



吾々農家は其の田の力を知らないからではなからうか？稲は土で作るものであると云はれているが、其の土が判らないのである。土の中三尺までの種々ない関係を充分知る必要がある。土の理学的性質、土性、土質、等々土地について充分なる力の把握していないための失敗であると云つて過言ではない。今の秋こそ土壤調査に万全を期して之を行ひいねを倒伏の害からまもつて頂き度いものである。土壤調査、今年の台風被害からしても其の必要性が特に強く感ぜられた。土壤調査が完了した旧町村もあると考へられた。之れは一応、村の指導的立場の人達が調査をせよと云われたから、其の人達が調査した五反歩に一点位である。まだ一枚一枚の田の調査は出来ていない。自分で自

分の田の調査をして見ようとは考へない。人が調査して呉れるだろうと考へているのではないだろうか。今までの町村では此れが原因で倒伏した被害が多きくでたのであるとも云えるのである。今年金西せられて町村の方々に特に此の意心からなる理解により調査を順調に進行出来て其の調査が来年の稲作増収と結ぶものであります。調査点数も出来る限り多く行われることを念願するのである。土壤調査は土質、土性、地質、密度、根の分布、根色について行われるのである。従来は単に酸性とかアルカリ性とかの調査であつた。勿論大切である、現に之の調査を笹川の畑地で果の農薬試験場より来て頂いてお願いして行つて居ます。畑地に大切であるいねを栽培するには大して

て必要性が少ないのである。耕土より心土が如何様であるかが大切である。稲の根が地下三尺以上伸長出来る様な田でないとい米は多収にはならないのである。其れを知る為め穴を掘つて頂くが深さ三尺までお願いするものである。巾は一尺の三尺位ほどのものである。一枚毎に調査を自分でして頂き度いものである。今年の秋の仕事として之を完了して頂き来年の稲作こそ、適品種の作付、施肥の適正化に依り倒伏しない稲で増産致しませう。

麥の播種

麦を作られるなら大麦で坪一升、小麦で七合以上の収量をあげて下さい。麦の増収は一つに適期播種からです。播種時期は品種に依り異なりますが大体に於て九月下旬からのものは

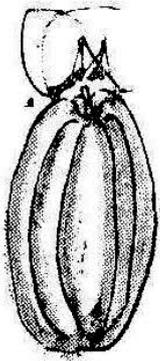
- 大麦 会津二号 北陸一号
- 小麦 農林二四号、北陸三〇号
- 北陸三一号
- 十月下旬
- 大麦 会津四号 北陸二号
- ニキワリムギ
- 小麦 農林二二号 ナンブコムギ
- 十一月中旬
- 小麦 赤ダルマ 農林六八号

秋蔬菜の管理

結球白菜の追肥  
早まきのものは九月下旬、おそまきのものは十月上旬まで最後の追肥をやつてしまふ。追肥は窒素肥料と共に加里肥料も補ふ。結球期に多量の追肥は根をいためるから少量あて施す。

チユウリツブの植付

チユウリツブの植付適期は十月上旬である。輸出栽培者は別としても花を見るための鉢植も今から準備して、土はあまり肥料が多過ぎる為め失敗の者が多いから少な目の肥料で良い球根には花が咲くだけの養分があるものであるから植込んだら室内より室外に置いた方が反つて管理が楽だ。雪のため鉢を割らない注意が必要だ。



朝日連青二位に入賞

県下青年大会演劇の部

去る九月九日、高岡市公会堂に於いて、第五回富山県青年大会が催され、朝日連青は演劇の部において「人形結婚」が第二位に入賞した。

朝日の連青

これは、菊地克信君の創作劇で、作劇の着眼点と、テーマの良さが審査員に好評であつた。演出の越沢君も短期間の練習で、ずい分と苦勞したが良くまとめた。又キヤストにおいては、山本君、大森君、善田君などが初めての出演でありながら好演であり、審査員の絶賛するところとなつた。

こゝして第二位入賞の栄を勝ちえたのであるがこの陰にはともすれば忘れがちにされる、スタッフの並々ならぬ苦勞も又忘れられない。そして今は青年団から退いておられる魚津光雄氏の演劇全般に關する助力と、朝日連青の意気と熱と団結が二位の榮譽をかちえたのである。尚当日の公演メンバーは次の通りである。

- 総指揮 広瀬武夫
- 製作 高校 進
- 脚本 菊地克信
- 演出 越沢希彦
- 装置 近藤徹夫
- 効果 上杉勇作
- 衣裳 大西道子
- 小道具 土井洋子
- 照明 清水 勇

- キャスト
- 紀子 大森一子
- その母 善田なつ子



朝日町校下別

少年野球大会開催さる

十六日、午前九時、小丸山公園グラウンドに於いて、第三回朝日町校下別少年野球大会が開催された。参加チームは、境、泊、五ヶ庄、南保、宮崎の五チームで、午後三時半終了した。

- 優勝 境チーム
- 次勝 泊チーム

# 朝日町の人口動態

(三一・八)

## ◎出生の部

泊	竹内 昭枝	寺田 仁
	草野 容子	岡田 忠彦
	松原 淳子	伊藤 進
	田中 博明	水野 雅之
	美佐 知子	沢田 亨
境	末上 弘江	末上真由美
南保	林 哲幸	
	殿村 春美	
大家庄	石橋 尚俊	加納 利行
	鍛冶 弘美	
死亡の部	藤沢 繁治	井口 ちりて
	松倉 きの	小田 千代

## ◎死亡の部

小沢 ふさ	宮崎 大平しゆん
水島 俊雄	扇谷 れゑ
笹川 伊平	
竹内 伊平	
五ヶ庄 しか	
金井 しか	
南保 殿村 春美	竹内真次郎
大家庄 青木 貢	藤田 松藏
山崎 小坂 れゑ	江端与三次郎
九里海允	
野中 金森喜代美	江畑 みつ
松平ゆきゑ	

# 朝日町

## 各地の秋祭り

野中地区	全部落	十月十五日～十六日
大家庄地区	全部落	十月十四日～十五日
山崎地区	殿町	十月十二日～十三日
	柳山	十月十六日
	羽入	九月十一日～十二日
南保地区	其他の部落	十月十一日～十二日
谷	其他の部落	九月十四日～十五日
草野	赤川	十月一日～二日
赤川	月山	十月十五日～十六日
泊地区	商店街	九月十五日～十七日
農家の多い地区		十月十五日～十七日

# 火の用心

強風下の火災は初期消火で喰い止めないといかに多くの消防車がかけつけても余程の好条件の地域でない限りは押さへることは困難だと云うことは今度の魚津市の大火が如実に物語つて居ります。

魚津市の大火は戦後五番目に大きなものであり、焼失戸数千五百戸、損害額五十億と云われます。

火災警報は気象の状況に依つて町長が発令するが、その時は全町民は定められたある通りの火の使用の制限に従わねばなりません。

風の強い又空気の乾燥して火災警報や強風注意報の出た時は、バケツやその他の容器に全部水をはつておく

ことは勿論必要なことである。魚津市の例に見る土蔵の焼け落ちたのは、窓や扉を閉めることを忘れたのがその原因で、しつかりと閉ぢて土又は味噌で目張りをして土蔵の中に水を入れた容器を入れておくことを忘れてはならない。

次に火災の発見、通報の敏速は最も肝心なことで、出火五分以内のポンプ一台が、十分後のポンプ十台に勝ることを忘れてはならない。此の為に国家消防本部では現在の常備消防の人員を三倍に増強して初期消火に十分な準備をせよと指示している所以もここに在る。

そこで初期消火について皆さんへお願いし度いことは、消防自動車の一刻も早く火事現場に到着する為協力して頂き度いことです、自動車

## 消防署便り

と、力が、大会新五つを出し盛会裡に終了した。

総合得点  
一位 滑川高校A 七九点  
二位 魚津陸協 四六六  
三位 黒部陸協 一六六

種目別  
一〇〇米 一位 舟川 友良  
二〇〇米 一位 岩城 守男  
二〇〇米 一位 舟川 友良  
四〇〇米 一位 尾崎 隆三  
一、五〇〇米 一位 尾崎 隆三  
五、〇〇〇米 一位 新田 廣司  
八〇〇〇米 一位 新田 廣司  
走り 一位 滑川高校A  
巾跳 一位 田辺 久夫



太子祭 十月十五日～十七日  
宮崎地区 八月廿六日～廿八日

第四回一般両越陸上競技大会開催さる

九月二日午前九時、小丸山公園グラウンドに於いて、朝日町体育協会、下新川郡中体連主催の第四回一般、中学両越陸上競技大会が、開催された。前日までの雨で、グラウンド悪コンディションのもと、若人の、意気

## 編集後記

心配された台風第十二号は、風雨の被害をもたらさず、これに依るフェーン現象下、魚津市に大火を起した。千五百戸をなめた戦後五番目の全国的大火であった。焼土に立つ魚津市民に衷心御見舞の詞を申し上げる。火の用心、火の用心。

男子八〇〇米リレー 一位 境 中学  
女子四〇〇米リレー 一位 魚津東部中学  
二位 境 中学

走 高跳	二位 千代 重成
砲丸投	一位 大沢 洋
円盤投	二位 石坂 寿人
女子	一位 尾崎 一郎
一〇〇米	一位 渡波 進
二〇〇米	一位 渡波 一郎
四〇〇米	一位 上田 政雄
リレー	一位 石黒利恵子
走 巾跳	一位 新村 英子
走 高跳	一位 中山 節子
砲丸投	一位 青木しげ子
円盤投	一位 石黒利恵子
中学対抗リレー	一位 島田千恵子
男子八〇〇米リレー	一位 浦田 節子
女子四〇〇米リレー	一位 島田 孝子
	一位 青木しげ子
	一位 篠田 滋代

宮崎 十月八日～九日  
境 八月廿二日～廿四日  
大平 十月二十一日